

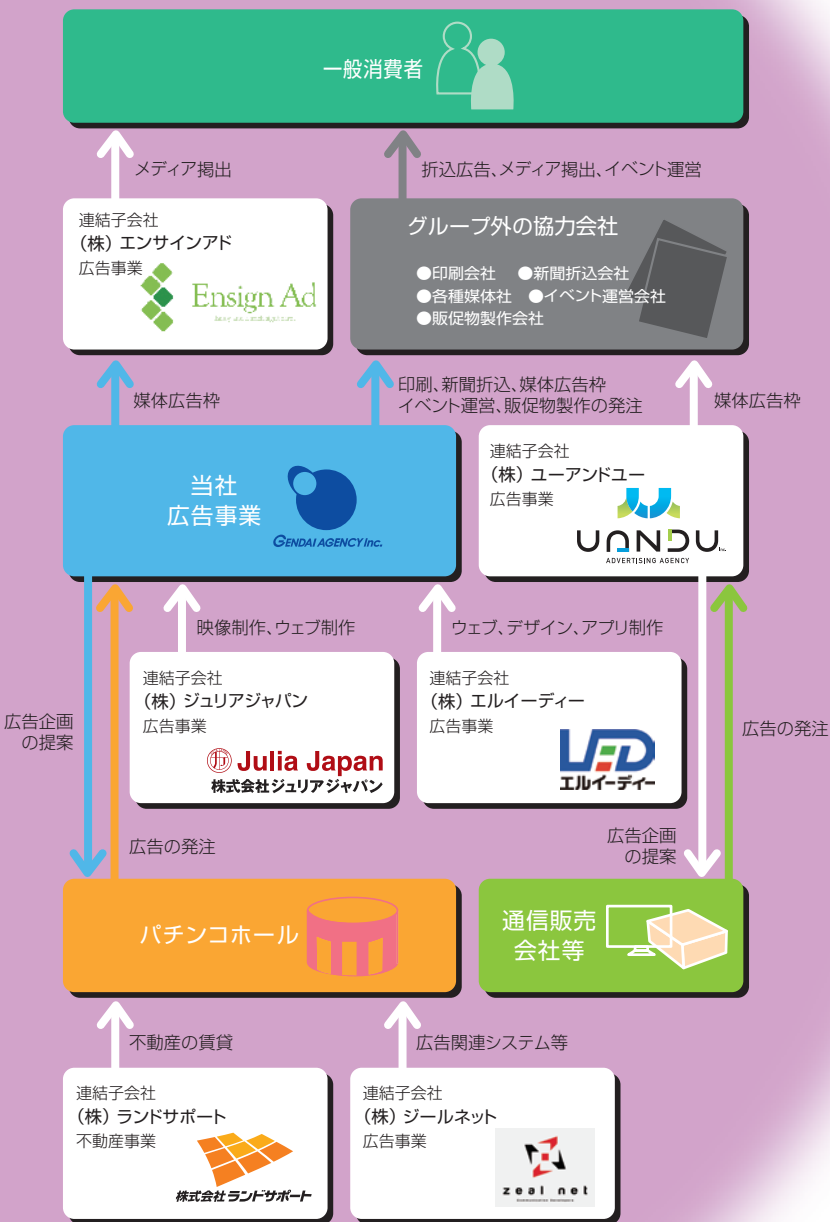
株主通信

2016年3月期

2015年4月1日～2016年3月31日

ゲンダイエージェンシー株式会社

ビジネスモデル



グループ会社の概要

1. 広告事業

ゲンダイエージェンシー (株)

パチンコホールに特化した広告事業。折込広告、販促物、媒体などの企画制作

(株) ユーアンドユー

通信販売会社等を主要クライアントとする広告事業。広告の企画制作、媒体枠販売

(株) ジュリアジャパン

各種映像制作、ウェブ制作などの企画制作

(株) ジールネット

広告システム等の企画制作

(株) エルイーディー

スマートフォンアプリ等の企画開発など

(株) エンサインアド

屋外広告枠の仕入れ、開発、企画販売など

2. 不動産事業

(株) ランドサポート

パチンコホールに特化した不動産の賃貸、仲介

基本理念

私達は、イノベーションと創造性に満ちた取り組みでクライアント企業の業績発展を支援する活動を通じて、豊かな社会の実現に貢献します。

ビジョン

1. 私達は、パチンコ業界をターゲットとした広告市場においてナンバーワンの企業を目指します。
2. 私達は、クライアント企業のコミュニケーション戦略を支援するために既存の広告事業の枠を超えた新しいアイデアやツールを開発、供給し続けていきます。



連結財務ハイライト

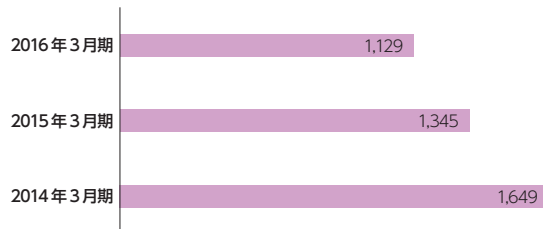
● 売上高

(単位：百万円)



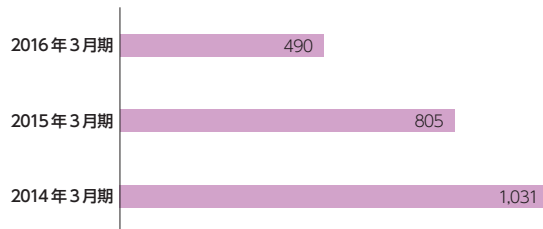
● 経常利益

(単位：百万円)



● 親会社株主に帰属する当期純利益

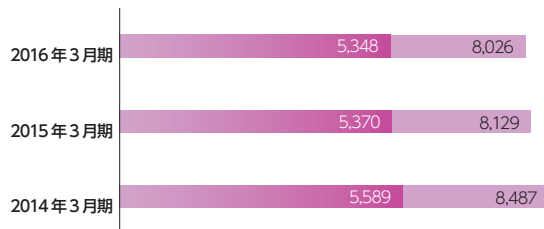
(単位：百万円)



● 総資産額／純資産額

純資産 総資産

(単位：百万円)



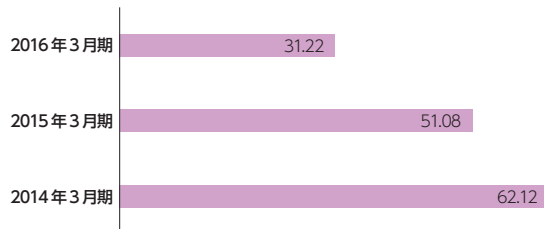
● 1株当たり純資産額

(単位：円)



● 1株当たり当期純利益

(単位：円)



株主の皆様へ



右： 代表取締役 CEO 山本 正卓
左： 代表取締役 COO 上川名 弦

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。ここに、2016年3月期連結累計期間のご報告を申し上げます。

当連結会計年度における日本経済は、金融緩和などを背景として、企業収益や雇用環境の改善により穏やかな回復基調にありましたが、中国を筆頭とするアジア新興国の成長鈍化に伴うリスクも顕在化しております。また、個人消費については、実質賃金の伸び悩みから、消費支出は依然として足踏み状態を脱しておらず、全体としては、不透明な状況が続いております。

当社グループの主要顧客であるパチンコホール業界においては、特に、2014年4月からの消費税増税の影響を受け、ユーザーの参加頻度や投資金額が減少した結果、収益面で厳しい状況が続き、依然として厳しい経営環境が継続しております。

また、大手法人を中心とした新規出店については、建築費の高騰による投資採算などの諸問題から、用地取得からスタートする大規模案件は、開店の遅延や新規案件そのものの減少が見受けられます。一方で、既存ホール企業の買収や、既存営業店を居抜きで取得し、改装する形態でのオープンは増加傾向にありました。

こうした環境下で、当社グループでは主力の広告事業において収益構造の転換を図るべく、インターネットメディアや屋外広告の積極的な拡販活動を展開してまいりました。また、新たにプリンティング、デザイン受託業務を開始し、収益の底上げに向けた活動を進めてまいりました。

その結果、当連結会計年度の売上高は16,919百万円(前期比2.1%減)、営業利益は1,142百万円(同12.2%減)、経常利益は1,129百万円(同16.0%減)、また、特別損失として、連結子会社ののれんについて125百万円の減損損失を計上し、さらに保有株式の一部について総額157百万円の投資有価証券評価損を計上した結果、親会社株主に帰属する当期純利益は490百万円(同39.1%減)となりました。

以上の経営成績をふまえ、1株当たりの年間配当金は30円とし、期末配当金1株当たり15円のお支払い開始日は2016年6月27日(月)とさせていただきます。

株主・投資家の皆様におかれましては、引き続きご支援・ご鞭撻を賜りますよう、お願いいたします。

2016年6月

2016年3月期の各事業概況

広告事業

当連結会計年度のパチンコホール広告市場は、2015年3月期に引き続き、広告規制に伴う需要の減少に加えて、パチンコホール企業における収益性悪化を要因とする、広告費の削減が断続的に続いたことから、広告需要は大きく低迷する状況にありました。加えて、特需案件となるパチンコホールのグランドオープン告知需要については、例年、出店のピークに当たる12月において概ね2014年同様の受注件数を確保したものの、居抜きでの出店案件も多く、告知案件の小型化が進んだことから、総受注高は減少いたしました。

こうした環境下において、当社は、特需案件の確実な受注に向けた営業活動と併行して、当期の課題の一つである、インターネットメディアや屋外広告の取扱高増加に向けた提案を推進してまいりました。

また、コスト面においては、デザイン業務の効率化によるコストダウンに向け、連結子会社(株)ジュリアジャパンの活用や、当社の各営業所配属デザイナーの基幹営業所への集約によるコスト削減や、協力会社の見直しによるダイレクトメール関連原価の削減にも着手いたしました。さらに、法人顧客向けのプリンティング、デザイン受託業務を本格的に開始いたしました。

これらの結果、売上高については、16,684百万円(前期比2.7%減)、セグメント利益は1,475百万円(同12.1%減)となりました。

不動産事業

当連結会計年度においては、連結子会社の(株)ランドサポート(以下、L S社)において、既契約で継続中の2件の賃貸案件のほか、売買賃貸仲介案件(仲介手数料売上合計4百万円)を成約しました。

その結果、不動産事業の売上高は150百万円(前期比3.0%増)、セグメント利益は63百万円(同6.2%増)となりました。

その他

当連結会計年度より新たに連結を開始した、連結子会社Gendai R1 Ltd.における香港飲食事業の売上高は84百万円、セグメント損失は19百万円となりました。

当社グループは、パチンコホール広告市場におけるマーケットリーダーとして、その強みであるサービスの付加価値と生産性の向上を不断に追求し、厳しい環境下においても安定的な収益性を確保していくとともに、常に新たな事業機会を模索し、積極的な事業開発に取り組むことにより、グループの持続的な成長を実現していきたいと考えております。

持続的な成長を実現するため取り組むべき戦略課題のうち、主なものは以下のとおりです。

① 広告事業における顧客開拓、取引深耕と、ローコストオペレーションの推進

- 営業における提案活動を質的、量的に充実させ、中でも大都市圏における未取引の大手法人の顧客開拓と、既存大手顧客との取引深耕に注力し新たな需要を開拓
- 受注から納品に至る全工程のボトルネック解消による生産性の向上
- 連結子会社（株）ジュリアジャパンを活用したデザインコストの削減を推進

② 広告事業におけるインターネットメディアの市場浸透

- パチンコユーザーに特化した自社開発メディアの充実
- 各種インターネット広告ツールを提供する外部パートナーとのアライアンスによる、パチンコホール向けサービスの開発や提供など
- これまで当社が得意としてきた、紙媒体広告とインターネット広告の複合によるプロモーション戦略の最適化策を提供

③ 事業領域の拡大

- 当社グループの主力事業である広告事業の隣接分野（次世代メディア、異業種広告、アミューズメント関連マーケティングなど）に関する調査・研究を強化
- 他業界の有力企業との事業提携による、サービスラインの拡充を積極的に推進



目標とする経営指標、配当政策

目標とする経営指標

当社グループが重要視している経営指標と、その実績は以下のとおりです。引き続き、「生産性」「付加価値」および「資本効率」を重視した経営を推進してまいります。

	目標値	2015年 3月期(実績)	2016年 3月期(実績)
売上高営業利益率 (生産性と付加価値の向上)	10.0%以上	7.5%	6.8%
ROE(資本効率の向上)	30.0%以上	14.7%	9.2%

配当政策と2016年3月期の配当について

当社は、今後のさらなる事業拡大を図るために必要な投資原資として、内部留保を充実させると同時に、これまでの経営活動の成果を株主の皆様へ明確な形で還元するため、業績に応じた配当を継続的に実施し、中長期的な株主価値の最大化を図ることを基本方針としております。

目標とする連結配当性向は、キャッシュ・フローの状況などを勘案し、当面50%を目安として考えております。さらに資本効率の向上を重視し、適切なタイミングで自己株式の取得を実施してまいります。

2016年3月期の配当金につきましては、上記の基本方針を踏まえて、1株当たり15円とさせていただきました。なお、当中間配当(15円)と合わせた1株当たり年間配当金は30円(連結配当性向96.1%)となります。

経営戦略実現のための施策

2017年3月期は、次の課題に取り組んでまいります。

① パチンコホール広告事業における収益構造の転換

緩やかに続くパチンコユーザー数の減少と、それに伴うパチンコホール広告需要の低迷に対応するため、事業の収益構造を転換していくことが、喫緊の課題と認識しております。

- 自社開発メディアである「パチ7」のコンテンツの一層の充実をはじめとした、インターネットメディアの開発と販売

- 屋外広告については連結子会社(株)エンサインアドと協力し、パチンコホールの新規出店案件の総合的な提案により受注を拡大
- プロモーション広告ビジネスとの親和性が非常に高い求人広告については、2017年3月期から営業活動を本格的にスタートし、早期に収益化

② パチンコホール以外の異業種クライアントに対する広告営業展開

パチンコ広告需要の減少に対応し、顧客基盤の強化を図る目的で、異業種へのアプローチを進めてまいります。これまで当社が培ってきた、紙媒体広告のノウハウを活用し、社内リソースを活用した事業を開発し収益化することで、グループ全体での広告取扱高の増加を目指してまいります。

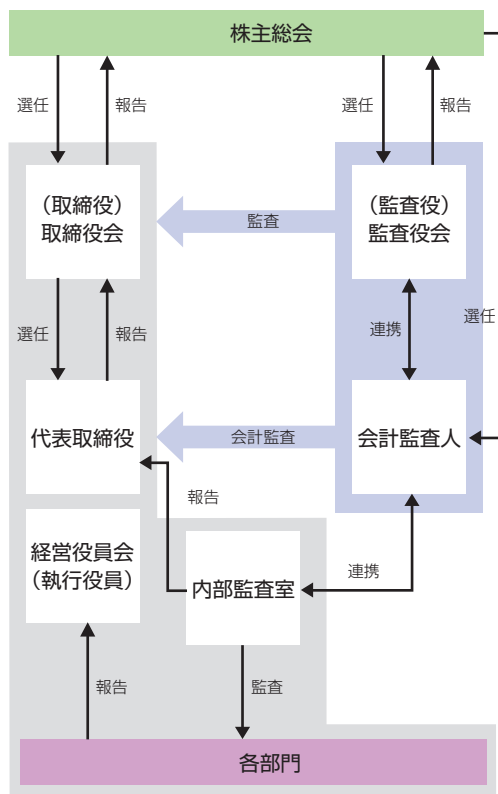
- 2016年3月期より正式に事業化した、異業種クライアント向けプリンティング事業およびデザイン受託ビジネス事業のさらなる拡大を推進
- 2017年3月期は同ビジネスで、ポスターなどを制作するEC事業を新たに開始
- 連結子会社化した(株)ユーアンドユーを起点として、通販会社を主とする新規クライアントの開拓
- 広告事業における活動領域の拡大に向けて、異業種クライアントの広告活動についての調査、研究。ほかの広告会社との提携や買収についても積極的に検討

③ 継続的なコストダウンの推進

- 当社における営業拠点やデザイン制作部門の大幅な集約や、連結子会社(株)ジュリアジャパンのリソースを活用した大幅なコストダウン
- 収益性を勘案した販売アイテムの整理により、採算性を重視したサービスの提供を徹底



コーポレート・ガバナンス



基本的な考え方

当社のトップ・マネジメントは、株主価値の持続的な増大を図ることが最大の責務であると考えており、健全性（コンプライアンス）と透明性（ディスクロージャー）を確保しながら、常に株主の皆様の利益を念頭に置いた企業活動を実践することを行動規範としております。

取締役会について

法令および定款に定めのあるもの、ならびに会社経営の重要事項として取締役会規程に定めのある事項は、毎月1回以上、開催される取締役会で決定しております。当社では常勤取締役が少人数であることから、日常における頻度の高いコミュニケーションが可能であり、また、社外取締役の選任による牽制効果と相まって効果的な業務執行の監視が可能な体制であると考えております。また、意思決定、経営監督と業務執行を分離し、責任の明確化を図ることを目的として執行役員制度を導入し、取締役会において選任された執行役員で構成される経営役員会において、綿密な審議と機動的な業務執行を行っております。

監査役会について

監査役は取締役会に常時出席しているほか、経営役員会をはじめとする社内の重要会議にも積極的に参加し、法令・定款違反や、株主利益を侵害する事実の有無について重点的に監査を実施しております。また、監査役会を定期的に開催し、監査に関する重要な事項について協議しております。

CSRへの取り組み

ゲンダイエージェンシー株式会社は、環境、社会的責任、コーポレート・ガバナンスに配慮し、持続可能な社会や経済の発展を目指した取り組みの実践に努めてまいります。

環境のために

地球環境の保全に努め、事業活動を通じて社会の発展に貢献します。

●地球と共に

省資源・省エネルギー化のために、オフィス内のペーパーレスの徹底や社用車のエコカー化、クールビズの実践などを行っております。

社会と共に

数多くのステークホルダーと共に発展できるよう、各種の活動に取り組んでいきます。

●社会と共に

●お客様のために

●お取引先と共に

●従業員と共に

東日本大震災の被災地支援ボランティア活動への参加、世界の子どもにワクチンを送るエコキャップ収集活動への参加、社員の心身の健康を考えたEAPの導入などに取り組んでおります。

企業として

持続的かつ信頼される企業として、様々な活動を行っていきます。

●コーポレート・ガバナンス

●コンプライアンス

●情報セキュリティ

●リスク管理

社員によるコンプライアンス逸脱の早期発見の仕組みづくりなどに取り組んでおります。

■ 広告事業の収益構造の転換

自社開発メディア「パチ7」をはじめとするインターネットメディアや、屋外広告に加え、求人広告の取り扱いを開始するなどサービスの幅を広げるとともに、異業種クライアント向けプリンティング事業やデザイン受託ビジネスの事業拡大、同ビジネスでポスターなどを制作するEC事業を開始するなど、広告事業をベースにした様々な取り組みを行っています。



「パチ7」サイトURL: <http://pachiseven.jp/>

「パチ7」サイトQRコード

屋外広告

パチンコホール広告の分野



GENDAI AGENCY Inc.

インターネットメディア
「パチ 7」



パチンコホール向け DSP* 広告
「Pachi Ad (パチアド)」



異業種向け
プリンティング・デザイン受託事業



「ぱちんこ広報室」
遊技業界関連企業の CSR 関連
プレスリリース配信サービス
サイト URL: <https://www.p-koho.jp/>

※ DSPとは…Demand-Side Platform(デマンド・サイド・プラットフォーム)の略称。広告主側が使用する、広告配信ツールとその周辺のこと。サイト訪問ユーザーのデータを蓄積し、より効果的なweb広告を可能にします。

財務諸表

① 総資産 <

当連結会計年度末における総資産は、のれんの償却および減損による減少や投資有価証券の評価損等の計上による減少などにより、前連結会計年度末（2015年3月期）と比較し102百万円減少の8,026百万円となりました。

② 負債合計 <

当連結会計年度末の負債合計は、借入金（長期含む）が返済により160百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末と比較して79百万円減少の2,678百万円となりました。

③ 純資産合計 <

当期純利益490百万円を計上する一方で、株主還元として利益配当471百万円を実施したことなどにより、前連結会計年度末と比較して22百万円減少の5,348百万円となりました。

連結貸借対照表

(単位:百万円)

区分	前連結会計年度 (2015年3月31日現在)	当連結会計年度 (2016年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	5,906	6,129
現金及び預金	3,494	3,507
受取手形及び売掛金	2,105	2,289
有価証券	100	150
繰延税金資産	22	17
その他	184	167
貸倒引当金	△ 1	△ 2
固定資産	2,222	1,897
有形固定資産	939	946
無形固定資産	321	123
投資その他の資産	961	827
① 資産合計	8,129	8,026
負債の部		
流動負債	2,249	2,160
支払手形及び買掛金	1,220	1,408
短期借入金	100	100
1年内返済予定の長期借入金	360	190
未払法人税等	234	213
その他	334	248
固定負債	508	518
長期借入金	490	500
資産除去債務	8	8
その他	10	10
② 負債合計	2,758	2,678
純資産の部		
株主資本		
資本金	751	751
資本剰余金	1,063	1,063
利益剰余金	3,538	3,502
株主資本合計	5,353	5,317
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9	△ 3
為替換算調整勘定	—	26
その他の包括利益累計額合計	9	23
非支配株主持分	8	7
③ 純資産合計	5,370	5,348
負債純資産合計	8,129	8,026

連結損益計算書

(単位:百万円)

区分	前連結会計年度 (自 2014年4月 1日 至 2015年3月31日)	当連結会計年度 (自 2015年4月 1日 至 2016年3月31日)
4 売上高	17,284	16,919
売上原価	13,366	13,184
売上総利益	3,918	3,734
販売費及び一般管理費	2,617	2,592
営業利益	1,300	1,142
営業外収益	55	17
営業外費用	10	29
4 経常利益	1,345	1,129
特別利益	0	17
特別損失	38	285
税金等調整前当期純利益	1,307	861
法人税、住民税及び事業税	502	407
法人税等調整額	3	△ 36
法人税等合計	505	371
当期純利益	802	490
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△ 3	△ 0
4 親会社株主に帰属する当期純利益	805	490

4 売上高・経常利益・当期純利益

主要顧客であるパチンコホール業界では、ユーザーの参加頻度や投資金額の減少・新規出店の減少など依然として厳しい経営環境が続いている中、当社グループでは主力の広告事業において収益構造の転換を図るべく、インターネットメディアや屋外広告の積極的な拡販活動を展開してきました。また、新たにプリンティング、デザイン受託事業を開始し、収益の底上げに努めました。その結果、当連結会計年度の売上高は前年同期と比較して2.1%減少の16,919百万円、経常利益は前年同期比16.0%減少の1,129百万円、そして親会社株主に帰属する当期純利益は前年同期比39.1%減少の490百万円となりました。

5 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益861百万円の計上に加えて、減価償却費103百万円をはじめとする非資金費用があった一方、法人税等の支払448百万円などが発生したことなどにより848百万円の収入(前年同期は1,027百万円の収入)となりました。

6 投資活動によるキャッシュ・フロー

主に投資有価証券の取得による支出287百万円があった一方、投資有価証券の売却及び償還による収入が180百万円があったことなどにより、260百万円の支出(前年同期は266百万円の支出)となりました。

7 財務活動によるキャッシュ・フロー

主に長期借入金の純減少額160百万円および配当金の支払471百万円があったことなどにより、631百万円の支出(前年同期は1,095百万円の支出)となりました。

連結包括利益計算書

(単位:百万円)

区分	前連結会計年度 (自 2014年4月 1日 至 2015年3月31日)	当連結会計年度 (自 2015年4月 1日 至 2016年3月31日)
当期純利益	802	490
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3	△ 13
為替換算調整勘定	—	26
その他の包括利益合計	3	13
包括利益	805	503
(内訳) 親会社株主に係る包括利益	809	503
非支配株主に係る包括利益	△ 3	△ 3

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

区分	前連結会計年度 (自 2014年4月 1日 至 2015年3月31日)	当連結会計年度 (自 2015年4月 1日 至 2016年3月31日)
5 営業活動によるキャッシュ・フロー	1,027	848
6 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 266	△ 260
7 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,095	△ 631
現金及び現金同等物に係る換算差額	31	△ 20
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 302	△ 63
現金及び現金同等物の期首残高	3,839	3,536
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	40
現金及び現金同等物の期末残高	3,536	3,513



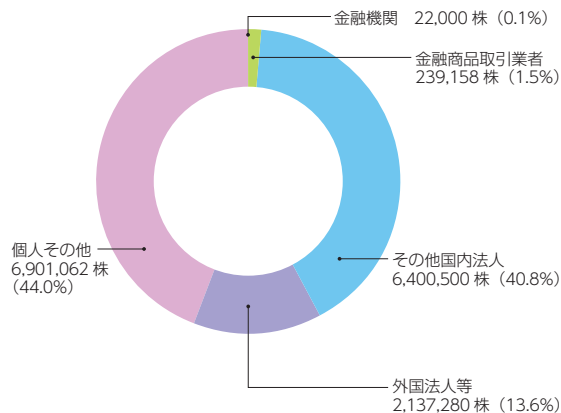
株式の状況

< 2016年3月31日現在 >

株式の状況

発行する株式の総数 66,400,000株
 発行済株式総数 15,700,000株
 株主数 5,681 人

所有者別株式分布状況

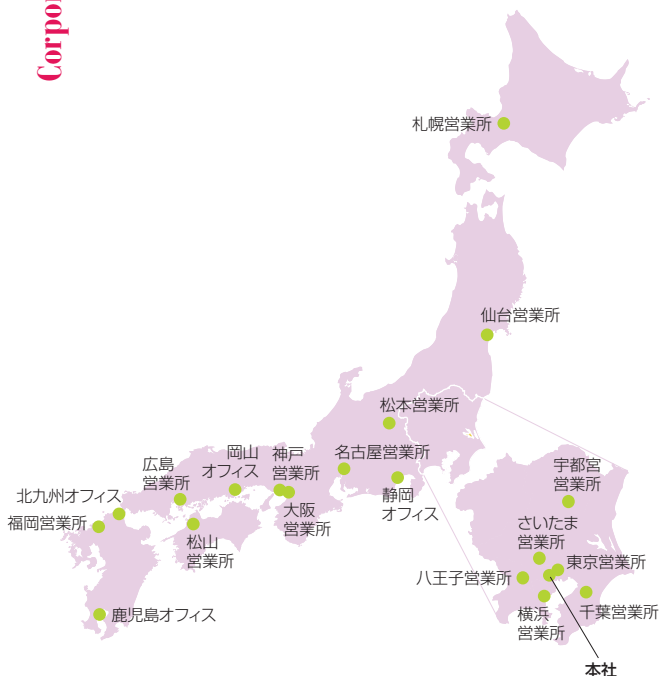


大株主

株主名	持株数(株)	%
1 アセット・マネジメント・アドバイザーズ(株)	5,244,000	33.4
2 BBH FOR FIDELITY PURITAN TR: FIDELITY SR INTRINSIC OPPORTUNITIES FUND 常任代理人 (株)三菱東京UFJ銀行	850,000	5.4
3 ジャパンプリント(株)	480,000	3.1
4 STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505224 常任代理人 (株)みずほ銀行決済営業部	375,000	2.4
5 梅田 美智子	362,900	2.3
6 山本 正卓	322,400	2.1
7 完山 敏錫	320,000	2.0
8 ゲンダイエージェンシー従業員持株会	221,000	1.4
9 THE BANK OF NEW YORK 133522 常任代理人 (株)みずほ銀行決済営業部	215,700	1.4
10 翟 林瑜	205,600	1.3



会社情報



会社概要

< 2016年3月31日現在 >

商号 ゲンダイエージェンシー株式会社
(GENDAI AGENCY INC.)

本社所在地 〒163-1429 東京都新宿区西新宿3-20-2
東京オペラシティビル 29F
TEL: 03-5308-9888 (代表)
※登記上の本店所在地は下記の通りです
東京都八王子市東町9-8

設立 1995年4月

資本金 7億5,159万1,776円

発行済株式総数 ... 15,700,000株

業務内容 広告、宣伝に関する企画および制作

事業所 ●本社、クリエイティブ本部

●全国19営業拠点※

(札幌、仙台、東京、八王子、宇都宮、さいたま、
千葉、横浜、松本、名古屋、静岡、大阪、神戸、
広島、岡山、松山、福岡、北九州、鹿児島)

※2016年3月31日をもって千葉営業所は東京支社に、北九州
オフィスは福岡営業所に統合し全国17営業拠点となりました。

連結子会社 (株)ランドサポート / (株)ユーアンドユー /
(株)ジュリアジャパン / (株)ジールネット /
(株)エルイーディー / (株)エンサインアド /
Gendai Agency HK Ltd. / Gendai R1
Ltd.

役員一覧

< 2016年6月24日現在 >

代表取締役 CEO 山本 正卓
代表取締役 COO兼CCO 上川名 弦
取締役 CFO 高 秀一
取締役 木藤 友治
取締役 坂本 哲進
取締役(社外) 上 岳史
取締役(社外) 松崎 みさ
常勤監査役 安達 吉明
監査役 寺田 公規
監査役 東 徹
監査役 高野 健二

GNDI ゲンディ・エンジェリシティ株式会社 | お問い合わせ | 無料相談 | English | サイトマップ | お問い合わせ

ニュースリリース 会社情報 サービスについて 求・投資家情報 CSRの取り組み 採用情報

IR・投資家情報

ホーム > IR・投資家情報



株主総会資料
「Future」アニュアルレポート



株主・投資家の皆様へ



5分てわかる
ゲンディ・エンジェリシティ

2016年4月15日 2016年3月決算発表動画

📄 目次ページ

ニュースリリース

RSS・RSSとは ● 一覧ページ

2016年04月15日 お知らせ 平成28年3月期 決算短信（日本基準）（速報）（Q228k）	2016年04月15日 お知らせ 特別株主の対上に関するお知らせ（P73&8）
2016年03月11日 お知らせ 平成27年3月期決算業績予想の前正に更新するお知らせ（P73&8）	2016年03月11日 お知らせ 西中開報告書-第21期決算説明会（平成27年10月31日～平成27年12月31日）（R24k）
2016年03月02日 お知らせ 2016年3月期第3四半期決算説明資料（P2&24k）	2016年03月02日 お知らせ 平成28年3月期第3四半期決算短信（日本基準）（速報）（Q3104k）

● 株主・投資家の皆様へ



株主・投資家の皆様へご挨拶
代表よりのご挨拶申し上げます

● 経営方針



当社グループの今後の発展
戦略についてご覧いただけます

● 事業紹介



当社グループの事業について
ご覧いただけます

● 株主還元方針・配当等



議決方針や配当金等の情報を
掲載しています。

● 財務ハイライト（速報）



当社の財務諸表（損益）等が
ご覧いただけます

● 株主・株式情報



株式に関する情報を掲載して
おります

● コーポレート・ガバナンス



当社の基本的な考え方やなど
をご覧いただけます

● 役員報酬



取締役の報酬体系と報酬額とを
掲載した表をダウンロードできます

● 電子公告



法定公告事項をお知らせします

● ディスクロージャーポリシー



当社の情報開示に関するポリシー
をご覧ください

● よくあるご質問



よくあるご質問とその回答を
掲載しています

● 問い合わせ

お問い合わせ先にご案内いたします

▲ Page Top ▲

● 会社情報

- 代表者について
- 会社概要
- 会社組織
- グループ企業の特徴
- 沿革
- 経理
- 監査報告
- 環境対策

● サービスについて

- サービスの提供
- 投資家サービスセンター
- パナコール証券の取扱い
- ゲンディ・エンジェリシティのサービス

● IR・投資家情報

- ニュースリリース
- 株主・投資家の皆様へ
- 経営方針
- 事業紹介
- 株主還元方針・配当等
- 財務ハイライト（速報）
- 株主・株式情報

● ニュースリリース

- コーポレート・ガバナンス
- CSRの取り組み
- 採用情報

© 2016 GENDI AGENCY INC. All Rights Reserved.

プライバシーポリシー 当サイトの利用について サイトマップ

※1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社など）で承ることを開設しております。口座を開設されている証券会社などにお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

2. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

VOC FREE T&E

VOC(揮発性有機化合物)成分フリーの
インキを使用して印刷しました。